

日高軽種馬協たより

HBA

日高軽種馬農業協同組合

☎0146-22-2258 FAX 22-3452

令和6年4月5日

第 **405** 号

第53回 総代会



挨拶する古川組合長

〈主な内容〉

- 第53回総代会について……………2～5ページ
- 装蹄競技大会の内容について……………5ページ
- JRA日高育成牧場からのお知らせ……………6ページ

第53回総代会終了

全議案承認される

3月15日(金)午前10時30分より、新ひだか町公民館・コミュニティセンターにおいて、日高軽種馬農業協同組合第53回総代会がおこなわれ、全9号の提出議案すべてが承認された。

開会に先立ち、日本中央競馬会生産者団体表彰および、(公社)日本軽種馬協会特別指定競走表彰がおこなわれた。団体表彰では、新冠町軽種馬生産振興会、門別軽種馬生産振興会の2団体が、特別指定競走表彰では、第53回高松宮記念を制したファストフォース号を生産した(有)三嶋牧場(浦河)のほか、7牧場が表彰を受けた。終了後、谷川副組合長より開会が宣言され、古川組合長の開会挨拶(4～5頁に全文掲載)に続き、日本中央競馬会菊田淳馬事担当理事、(公社)日本軽種馬協会上野義治副会長常務理事の来賓各位によるご祝辞の後、議事に入った。

議長については、久井直彦氏(三石)と長浜大介氏(新冠)の2名が選出され本人出席17名、書面決議による出席119名の計136名(出席率87.18%)の出席により総代会が成立し議事進行に移った。迅速な進行がはかられ全9号の提出議案が原案通り承認された。

議案には、生産振興積立金を新たに創設し、1億円を目標額とし積み立てをおこなうものや、市場振興積立金の目標設定額を現行の2億円から3億円への変更をおこなうもの、昨年の記録的な猛暑下でのサマーセールを鑑みて北海道市場施設の空調整備工事の承認などが含まれ、すべて議案通りに承認となった。

提出された議案は次の通り。

1. 令和5年度事業報告、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案および注記表の承認について
2. 生産振興積立金(定款第58条に定める目的積立金)の設定について
3. 市場振興積立金(定款第58条に定める目的積立金)の設定額の変更について
4. 役員選任規程の一部変更について

5. 令和6年度事業ならびに収支計画の承認について
6. 令和6年度賦課金の賦課および賦課徴収の方法について
7. 北海道市場施設の整備について
8. 役員報酬の支給について
9. 系統団体等に対する出資・出えんについて
※すべて原案通り承認

令和5年度JRA生産者団体表彰

総代会に先立っておこなわれたJRA生産者団体表彰でJRA菊田理事より賞状ならびに記念カップが授与された。

令和5年度 JRA生産者団体表彰(敬称略)

第1位	胆振軽種馬農業協同組合
第2位	新冠町軽種馬生産振興会
第3位	門別軽種馬生産振興会



JRA生産者団体表彰授与者

(左より、菊田理事、細川会長(新冠)、庄野会長代理(門別))

令和5年度 JBBA特別指定競走会長賞 表彰者

令和5年度 JBBA特別指定競走会長賞

(敬称略)

地区	生産者名	馬名	優勝レース名
浦河	(有)三嶋牧場	ファストフォース	第53回高松宮記念
		メイショウハリオ	第46回帝王賞
	(有)日進牧場	キングズソード	第23回JBCクラシック
静内	(有)高橋ファーム	ミックファイア	第25回ジャパンダートダービー
	(有)千代田牧場	ウシュバテソーロ	第69回東京大賞典
	(有)畠山牧場	アイコンテラー	第13回JBCレディスクラシック
門別	クラウン日高牧場	ジャックドール	第67回大阪杯
	春木ファーム	イグナイター	第23回JBCスプリント



JBBA表彰

(左より、JBBA上野副会長、(有)三嶋牧場様、クラウン日高牧場様、(有)千代田牧場様、(有)高橋ファーム様、(有)畠山牧場様、春木ファーム様、(有)日進牧場様)

第53回総代会 組合長挨拶

皆様、おはようございます。第53回総代会の開催にあたりまして、一言ご挨拶申し上げます。

総代の皆様におかれましては、繁殖シーズンの大変ご多忙のところ、ご出席を賜りまして心より厚く御礼申し上げます。また、日頃より組合運営につきまして、多大なるご指導、ご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

本日は、JRA日本中央競馬会菊田理事、公益社団法人日本軽種馬協会上野副会長をはじめ、ご来賓各位のご出席を賜り、厚く御礼申し上げます。

只今、本席上で表彰を受けられました皆様方におかれましては、心よりお祝いを申し上げます。

昨年は、国内外のGI競走を始め、重賞競走において日高産馬の活躍が目立った1年となりました。活躍馬を輩出されました組合員の皆様に心よりお祝い申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、国内経済はコロナ禍が明け本格始動が進む一方、国際情勢の度重なる緊迫化に伴い、円安、物価高騰、資材不足などが続く1年となりました。年明け早々には、能登半島地震が発生し、北陸地方を中心に甚大な被害となりました。被災者の皆様に心よりお見舞いを申し上げますとともに、いち早い復興をお祈りいたします。

経済情勢が大変心配されましたが、北海道市場は大変盛況のもと開催させていただくこととなり、売上総額187億6347万円と過去最高を更新する結果となりました。購買関係者皆様のご高配ならびに、組合員皆様からの良質馬の上場のお陰であり、心より感謝申し上げます。

競馬につきましては、令和5年の中央競馬の売上が3兆2754億円、前年対比100.7%と3年連続の3兆円越えとなったほか、地方競馬についても1兆734億円、前年対比100.8%と1兆円越えを達成しております。

各競馬主催者におかれましては、生産者賞ならびに内国産馬所有奨励賞の拡充、新馬導入の補

助購買の拡充など、軽種馬生産界に対し多岐にわたるご対応をいただいております。深く感謝申し上げますの次第でございます。

組合事業につきましては、北海道市場事業を中心に皆様で各事業とも計画通りの決算を迎えることとなり、組合員皆様に重ねて感謝申し上げます。このようななか、昨年はサマーセールにおいて記録的な猛暑のなかで長時間開催となり、関係者皆様に大変ご苦勞をおかけすることとなりました。本年は暑熱対策として、市場本館ならびにセールリング、パレードリング等の冷房施設について実施してまいりたいと考えております。なお、本年も剰余金が出ましたので、市場利用割戻を始めとする剰余金処分案について本総代会にて提案させていただきます。また、目的別積立金の生産振興積立金を創設し、今後の軽種馬生産振興対策のための積み立てをおこなってまいりたく、本総代会にて提案させていただきますのでご理解を承りたくお願い申し上げます。

農政活動につきましても、昨年は生産等に関する協議会を通じまして、JBB様と連携して中央要請をおこなってまいりました。

本年よりJRA内国産所有奨励賞が8着まで拡大交付されるなど手厚い対応をいただくこととなっております。この場を借りまして、改めて感謝申し上げます。

競走馬生産振興事業につきましては、令和5年度から5年間の事業予算総額236億円と事業の恒久化が実現しました。今後とも、軽種馬基盤対策、優良種牡馬・優良繁殖牝馬導入事業、労働力・後継者不足などの対策等、有効活用に向けてJBB様と連携して対応してまいります。

日高軽種馬振興対策推進協議会より業務委託を受け運営しております「ひだか・ホース・フレンズ」につきましては、これまで50名近い研修生を受け入れることができました。この取り組みが評価され、競走馬生産振興事業の補助をいただき事業を進めております。今後とも、管

内関係機関、団体と連携のもと、軽種馬産業における就業者不足の問題解消に取り組んでまいりたいと考えております。

診療事業につきましては、現在、獣医師9名体制で診療業務にあたっているところでございます。獣医師職員の減員により、組合員皆様にご不便をおかけしておりますことを心よりお詫び申し上げます。今後とも新規獣医師職員の採用をはじめ、獣医師職員の確保に努めておりますので、ご理解を賜りたくお願い申し上げます。

昨年の総代会で要望がありました「理事定数枠の見直し」につきまして、役員定数問題審議

会にて、えりも～浦河連合枠1名の削減が答申されましたので、現行の理事15名から14名体制への変更について本総代にて提案させていただきます。

最後になりますが、上程しております全議案につきまして総代皆様のご審議を承り、有意義な総代会にさせていただきたくお願い申し上げますとともに、ご列席の皆様のご健勝、ご活躍を心よりお祈り申し上げます、甚だ簡単ではございますが、開会の挨拶とさせていただきます。本日はよろしくお願いたします。

第30回装蹄競技大会が開催される

3月25日（月）午前7時00分より、J R A日高育成総合施設内軽種馬装蹄所（B T C軽種馬診療所内）にて「北海道日高装蹄師会第30回装蹄競技大会」が開催された。

これは、北海道日高装蹄師会が毎年この時期に主催している競技大会で、10月に開催される全国装蹄競技大会の予選を兼ねている。本年はコロナ禍が明け5年ぶりに来賓を招き、競技会終了後には褒賞授与式がおこなわれる従来通りの開催となった。

本大会から与えられる5枚の全国装蹄競技大会への出場権をかけて11名（ほかオープン参加1名）の選手が出場した。今回は記念すべき30回目の大会となることから選手へ大会ユニフォームを作成し競技へ挑み、予選を通過した上位8名が午後からの装蹄競技へと進んだ。結果は、各部門を総なめにした滋賀県から参加の川井伸太郎選手が総合優勝に輝いた。また、下記の5名に全国装蹄競技大会への出場権が与えられた。

優勝：川井 伸太郎

2位：岡本 昂昌

3位：武藤 涼

4位：黒田 優輝

5位：尾崎 智久

装蹄判断部門：川井 伸太郎

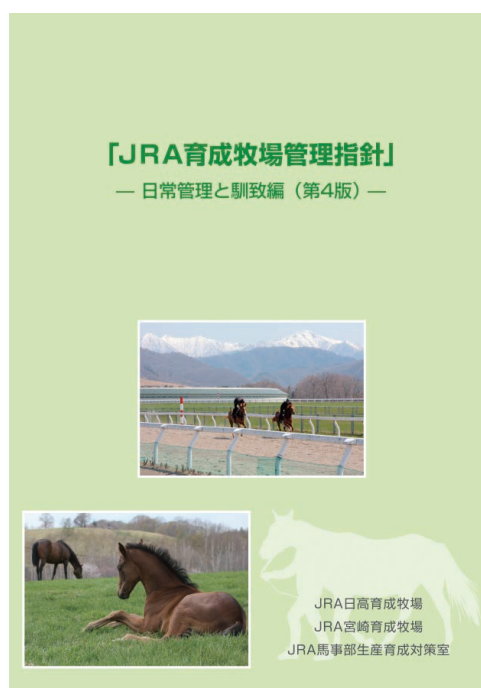
装蹄部門：川井 伸太郎

単独造鉄部門：川井 伸太郎

「JRA育成牧場管理指針 ー生産編ー」改訂のご案内

JRA日高育成牧場では2008年からJRAホームブレットを活用した「生産からの育成」業務に着手し、2010年にその成果をとりまとめた「JRA育成牧場管理指針ー生産編ー」を作成しました。その後、2016年に第2版を、昨年末には第3版を発刊いたしました。今回の改訂では、最新の知見を追加するとともに動画への二次元コードを掲載し、これまで以上に活用しやすい内容となっております。

どなたでも閲覧、ダウンロードいただけますので、「日常管理と馴致編（第4版）」と併せて、皆様の生産・育成活動の参考書として利用いただければ幸いです。



お問い合わせ先：JRA日高育成牧場
TEL 0146-28-1211